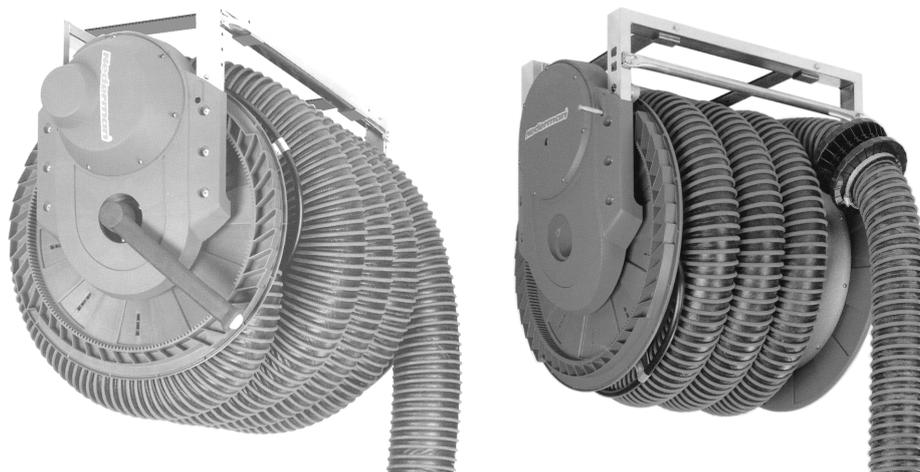


# 取扱説明書

## 電動式・スプリング式排気ホースリール (Nederman)



### 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。  
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。



## - はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告・注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、本書は本製品をお使いいただく際にもいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

## - 使用目的

本製品は、アイドリング状態にある一般乗用車やトラックなどを点検・整備する際に発生する排気ガスを、排気ファンおよびダクトなどと併用して屋外に排出するための装置です。なお、本製品は溶接のヒューム・塵埃などの排出には使用できません。

## - 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行なう方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容を良くご理解いただくようによくお読みください。



### 警告

： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



### 注意

： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

## - 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

### 警告

-  - 車両エンジンの回転数を上げたまま（空ぶかしや高負荷状態）の状態です長時間使用しないでください。排気ガスの温度が上昇し、火災やホースの劣化など故障の原因になるとともに、室内に排気ガスが充満し作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。
-  - 黒煙除去装置（DPF, DPD, DPR など）を装着している車両において、黒煙除去装置が再生状態にある場合には使用しないでください。排気ガスの温度が高温（400 °C以上）となり、ホースの破損や火災の原因となります。
-  - 車両マフラーへのラバーノズルの差し込み固定は確実に行ってください。固定状態が不十分な場合、エンジンの始動時や稼働中にノズルが外れ、排気ガスを吸引することができず、室内に排気ガスが充満して作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

### 注意

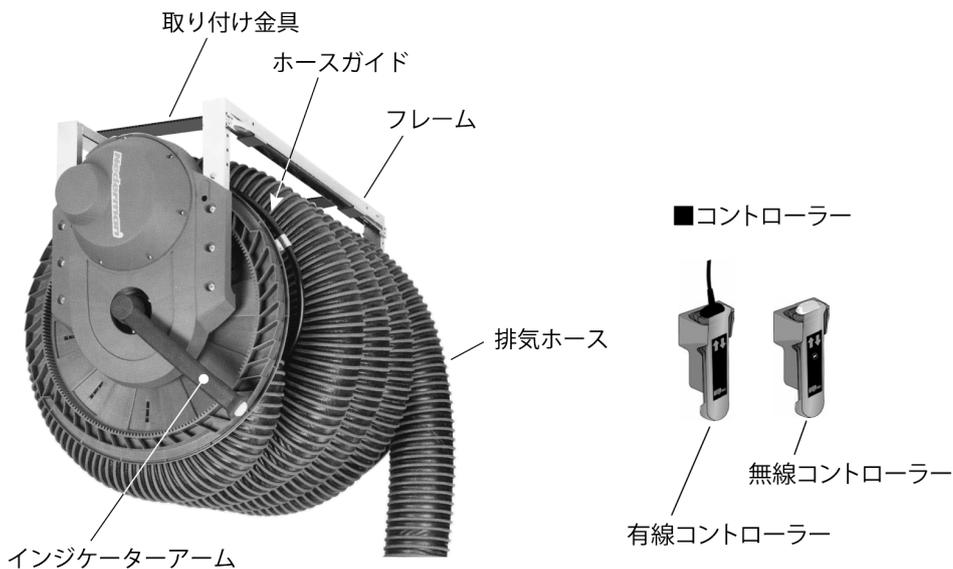
-  - 本製品の改造は絶対にしないでください。改造すると人身事故や故障を生じる恐れがあります。
-  - エンジンクリーナーを使用した状態での車両には使用しないでください。エンジンクリーナーに含まれている成分が排気ホースの寿命を著しく短くします。
-  - 排気ホースを下降させる場合には、不注意な事故が起きないように、本製品の真下に人や車両が無いことを確認してください。
-  - （電動式排気ホースリールの場合）排気ホースが手の届く範囲まで下りてきたら、ラバーノズルのグリップを持ちながら排気ホースを下降させてください。手放し状態ではラバーノズルが空中で揺れて、人や車両などをキズ付ける恐れがあります。
-  - 車両のエンジンを停止した直後のラバーノズルは大変高温になっています。ラバーノズルの取り外しには手袋などの保護具を着用してヤケドしないように注意してください。
-  - （電動式排気ホースリールの場合）短時間での電源投入の繰り返しは、インジケータアーム LED 表示が誤動作する可能性がありますので、お止めください。電源を再投入する場合は、1 分間以上経ってから行ってください。

# 目次

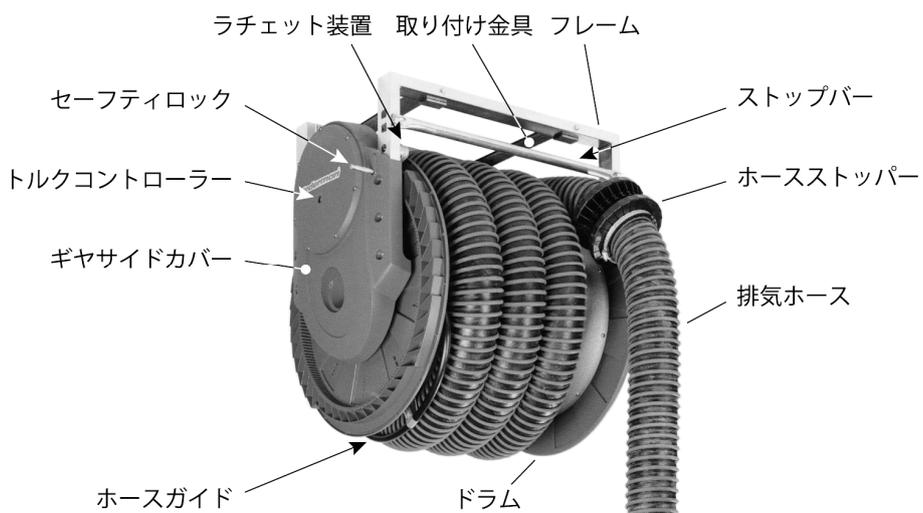
- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称.....	1
2. 設置.....	1
3. 使用前の準備	
3.1 調整および設定.....	2
3.2 確認事項.....	4
4. 使用方法.....	7
5. 保守・点検	
5.1 故障の点検とその対策.....	9
5.2 保守・点検.....	10
6. 仕様.....	11
7. 主要寸法	
7.1 排気ホースリール.....	11
7.2 ラバーノズル.....	12
8. 分解図・パーツリスト	
8.1 電動式排気ホースリール.....	13
8.2 スプリング式排気ホースリール.....	14
9. 製品保証登録シート.....	15
10. 保証規定.....	16

## 1. 各部の名称

### <電動式排気ホースリール>



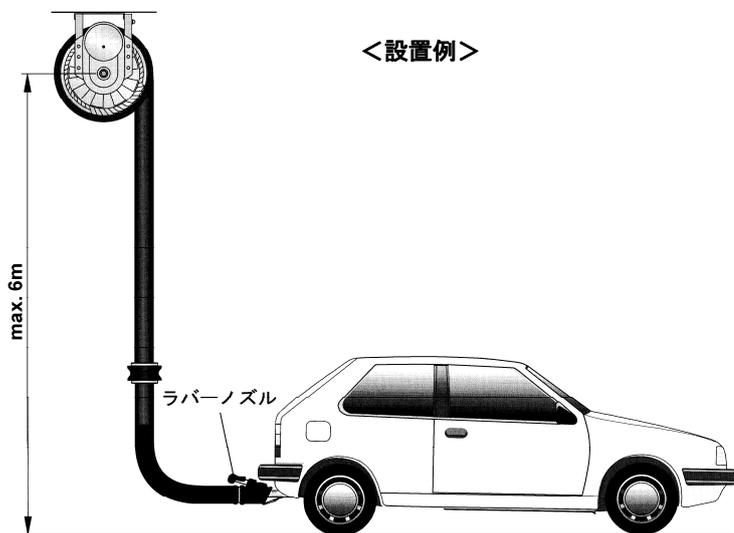
### <スプリング式排気ホースリール>



## 2. 設置

本製品は、天井または壁面に取り付けることができます。  
 床面からの取り付け高さは、作業エリアおよび排気ホースの引き出し長さを考慮して決定してください。  
 設置方法については、別途「設置要領書」(Doc. No. EXT 011S)を参照してください。

### <設置例>



### 3. 使用前の準備

本製品には車両のマフラー部に接続するラバーノズルおよび排気ガスを吸引・排出する排気ファンは含まれていませんので別途ご購入ください。また、車両マフラー部に排気ホースが届かない場合には、延長用の排気ホースを別途ご購入の上、延長接続してください。

#### 3.1 調整および設定

##### <電動式排気ホースリールの場合>

##### ■上限・下限の設定

工場出荷時は上限および下限の設定はされていないので、設置場所の状況に合わせて設定してください。

- 1) コントローラーの「上」と「下」の押ボタンを同時に7秒間以上押し続けてください。インジケータアーム先端の赤いLEDが点滅します。
- 2) 設定モードでは始めに上限を設定します。「上」の押ボタンを押して、上限に設定したい位置までホースを巻き取ってください。  
延長用の排気ホースを取り付けても可能な巻き取り長さは変わりません。二重巻きにならないように注意して巻き取ってください。(Fig.12 参照)
- 3) 設定したい位置が決まったら「上」と「下」の押ボタンを同時に数秒間押し続けてください。黄緑色のLEDが数秒点滅したら上限の設定完了です。
- 4) 次に上限位置から「下」の押ボタンを押して、下限に設定したい位置までホースを引き出してください。
- 5) 設定したい位置が決まったら「上」と「下」の押ボタンを同時に数秒間押し続けてください。黄緑色のLEDが数秒点滅したら下限の設定完了です。

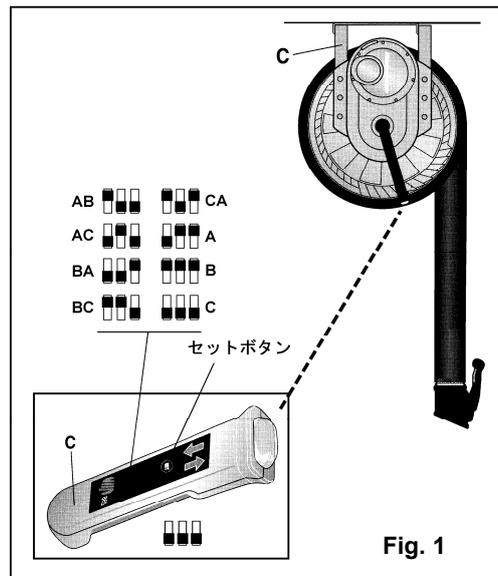
##### <NOTE>

「上限のみ」「下限のみ」の設定および設定位置の変更はできません。必ず、上限と下限の位置設定を同時に行ってください。

##### ■コードの設定（無線コントローラー仕様で複数台使用のときのみ）

工場出荷時には、無線コントローラーのコード設定はすべて同じ（コード No. C）となっていますので、複数台の無線式電動リールを狭い範囲に設置した場合、すべてのリールが同調して動くことが考えられます。このため、コードの設定を変更してください。コードの設定は無線コントローラーの内部にあるディップスイッチで行います。下記の手順で変更してください。

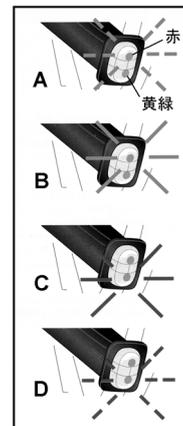
- 1) コードは8種類用意されていますので、適当に振り分けてください。（コントローラーの設定完了）(Fig. 1)
- 2) コントローラーをインジケータアーム先端の受光部に向け、セットボタンを7秒間以上押し続けてください。インジケータアーム先端の黄緑色のLEDが点滅します (Fig. 1)



##### <NOTE>

インジケータアーム先端にあるLEDから分かる状態 (Fig. 2)

- ・ 赤：点滅 (A) … 上限、下限設定モードに移行したとき。
- ・ 赤：点灯 (B) … コントローラーから入力があったとき。  
(「上」や「下」の押ボタンを押しているとき)
- ・ 黄緑：点灯 (C) … 排気ファン稼動状態。
- ・ 黄緑：ゆっくりとした点滅 (D) … スタンバイ状態。  
(電源投入直後や排気ファン停止時など)
- ・ 黄緑：早い点滅 (D) … 上限や下限の設定値が設定されたとき。

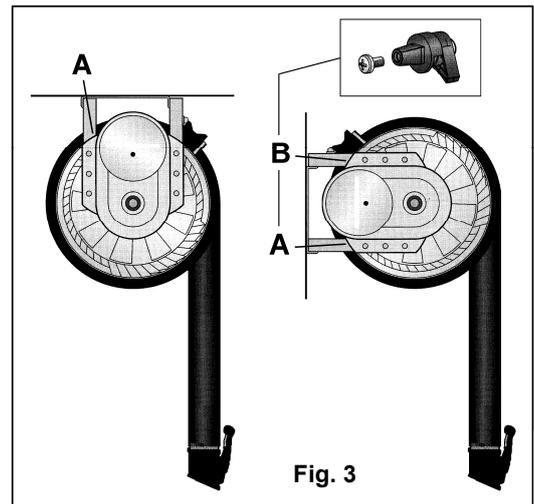


### <スプリング式排気ホースリールの場合>

#### ■ラチェットの調整 (Fig. 3)

排気ホースリールを天井に取り付けた場合、工場出荷時のラチェット取り付け位置 A で使用できます。壁面に取り付けを行った場合、位置の変更 (A → B) が必要となりますので調整を行ってください。

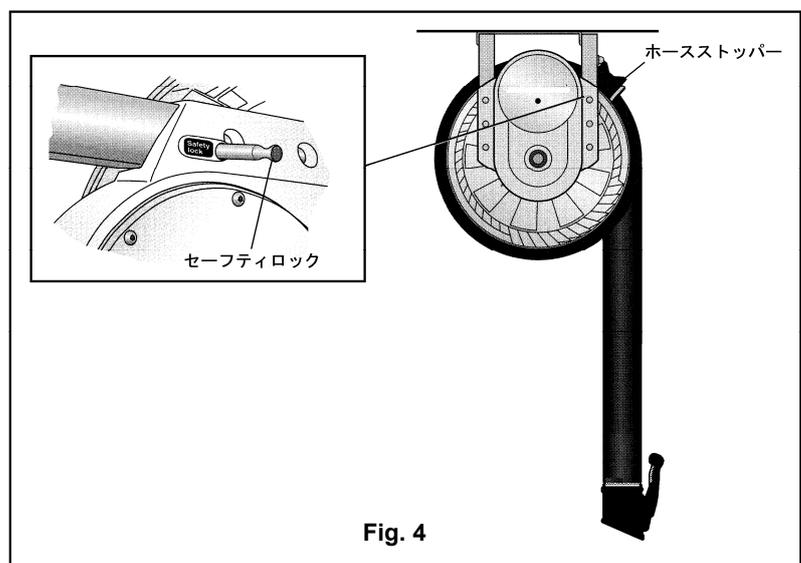
 <b>注意</b>
 - 調整を行うときは、必ずセーフティロックを押し込んで、確実にロックされていることを確認してください。



#### ■排気ホースの調整 (Fig. 4)

排気ホースを下記の手順で調整してください。

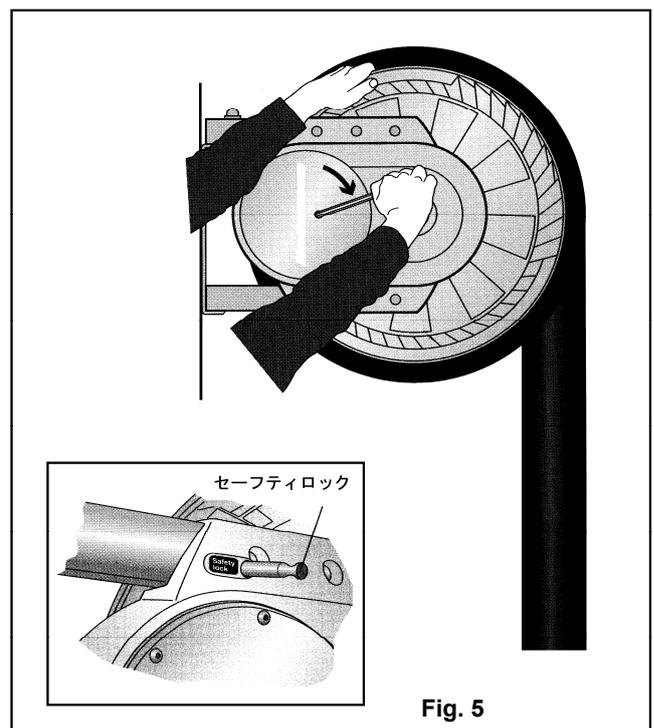
- 1) 排気ホースを床面から適当な高さで止まるところまで引っ張ってください。
- 2) ギヤサイドカバーにあるセーフティロックを押し、ドラムを固定してください。
- 3) ホースストッパーで排気ホースの長さを調整し、固定してください。
- 4) セーフティロックを解除してください。



#### ■スプリングの調整 (Fig. 5)

ホースをすべて引き出し、ゆっくりと巻き取ります。巻き取りの最中にテンションが弱くなるようであれば、テンションを強めに設定する必要があります。下記の手順でテンションを調整してください。

- 1) ギヤサイドカバーにあるセーフティロックを押し、ドラムを固定してください。
- 2) スプリングカバーの中心にあるテンションコントローラーの六角形の穴に、排気ホースリール付属の六角レンチを接続して時計方向に回します。
- 3) テンションが強すぎる場合は、ホースストッパーとラバーノズルを取り外し、ホースを数周巻き戻してください。



## 3.2 確認事項

1) 本製品を天井または壁面に固定しているボルトおよびナットに緩みがないか確認してください。

### 2) <電動式排気ホースリールの場合>

- ・ 本製品を操作する無線・有線コントローラーの「下」の押ボタンを押し続けると、排気ホースが降りてくることを確認してください。

#### <NOTE>

無線コントローラーの発信部は、受光部に確実に向けてください。受光部に赤外線信号が当たっていないと反応しません。

- ・ 下限に設定した位置でドラムの回転が止まり、排気ホースの引き出しが終了することを確認してください。

### <スプリング式排気ホースリールの場合>

- ・ ラバーノズルを持って排気ホースを下に引き、排気ホースが引き出せることを確認してください。排気ホースを下ろす際にカチカチとラッチ音が鳴るところで手を緩め、その位置でラッチ装置のロックが掛かることを確認してください。(Fig. 6)

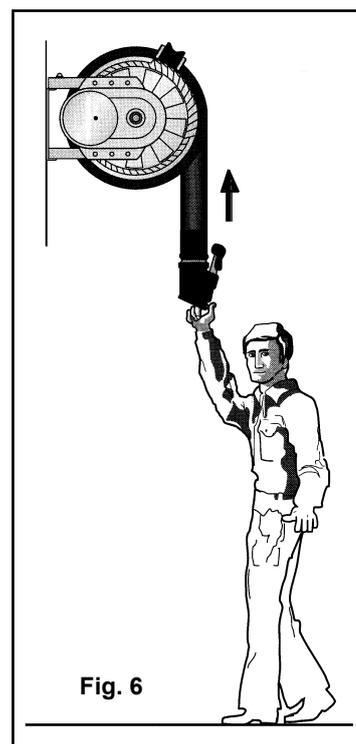


Fig. 6

## ⚠ 注意

- ! 排気ホースを下げる場合には、事故が起きないように、本製品の真下に人や車両が無いことを確認してください。
- ! 排気ホースを無理に引っ張らないでください。排気ホースおよび機器の破損の原因になります。
- ! 電動式で有線コントローラーを使用する場合、無理に引っ張って操作しないでください。断線や機器破損の原因になります。

3) 排気ホースにラバーノズルが確実に接続されていることを確認してください。

### <ラバーノズルの取り付け> (Fig. 7, 8)

- ラバーカバーおよびホースバンドに排気ホースを通してください。
- 排気ホースをラバーノズルのフレキシブルパイプ部の奥まで差し込み、ホースバンドを排気ホースの端まで移動させてください。
- ホースバンドにて確実に締め付けてください。(締め付けトルク参考値：2.5 N・m)
- ラバーカバーをホースバンドの上に覆い被せ、ホースバンドの金属部が見えないようにしてください。

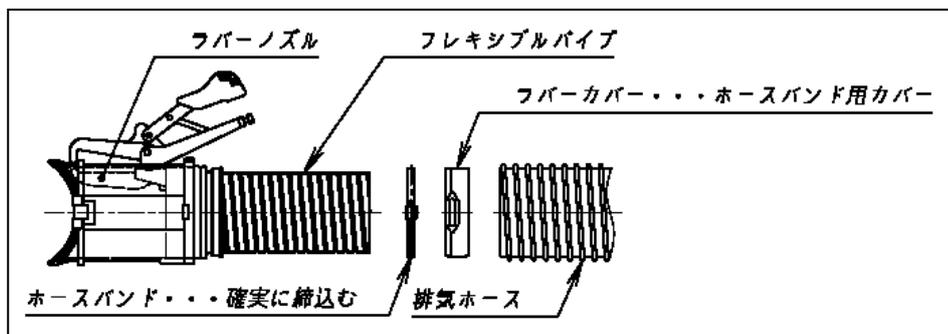
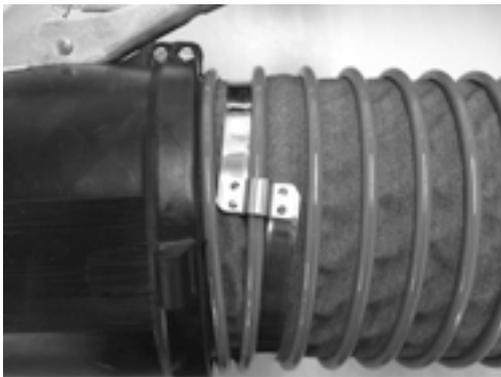


Fig. 7

## ⚠ 注意

- ❗ - ホースバンドを強く締めすぎると溶接部が変形し、溶接が外れる恐れがあります。ホースバンドの溶接部が変形しないように注意しながら締め付けてください。
- ❗ - ラバーカバーはホースバンド全周を覆うようにして取り付けてください。ホースバンドの一部がラバーカバーよりはみ出していると、その部分との接触により排気ホースや車両などの損傷および人的損傷を起す恐れがあります。

### <良い例>



確実に締め付けられていて、溶接部に変形がない状態 **Fig. 8(a)**

### <悪い例>

### 溶接部の変形



過度の締め付けにより、溶接部に大きな変形が見られる状態 **Fig. 8(b)**

- 4) ラバーノズルの先端部（バイスグリップ部）が、車両の排気マフラーに確実に固定できることを確認してください。車両マフラーの板厚によっては上手くクリップできないことがあります。その場合には、グリップの調整ねじで調整してください。（Fig. 9）



**Fig. 9**

## ⚠ 注意

- ❗ - 車両のマフラー部にラバーノズルが届かない場合は、ラバーノズルを無理に引っ張らずに車両をラバーノズルの届く範囲まで移動させてください。無理に引っ張ると排気ホースおよび機器の破損の原因になります。
- ❗ - 車両のマフラーに接続するときは、排気ホースを床面に引きずらないでください。ホースにキズが付くことによりホースの寿命が短くなります。

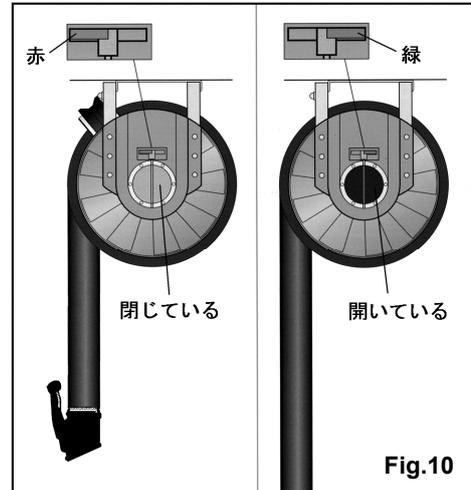
5) <電動式排気ホースリールの場合>

- ・ 本製品を操作する無線・有線コントローラーの「上」の押ボタンを押し続けると、排気ホースが上昇することを確認してください。
- ・ 上限設定位置でドラムの回転が止まり、排気ホースの巻き取りが終了することを確認してください。

<スプリング式排気ホースリールの場合>

- ・ 排気ホースを少し引き出し、ロックを解除して、排気ホースがドラムに巻き取れることを確認してください。
- ・ ホースストッパーがストッパーに引っ掛かり、巻き取りが止まることを確認してください。
- ・ スイベルサイドカバーにあるマーカが、排気ホースを引き出すときは緑、巻き取るときは赤になることを確認してください。(Fig.10)

	<b>注意</b>
	・ 排気ホースを上昇させる際は、必ずラバーノズルを保持しながら行ってください。ノズルが空中で揺れて車両などに接触し、損傷の原因になります。



## 4. 使用方法

### 1) <電動式排気ホースリールの場合>

- ・ 無線・有線コントローラーの「下」の押ボタンを押し続け、ラバーノズルが車両マフラーに届く位置まで排気ホースを引き出してください。このとき、押ボタンを離すとドラムの回転が止まり、排気ホースの引き出しが停止します。再度、押ボタンを押し続けると排気ホースを引き出すことができます。

### <スプリング式排気ホースリールの場合>

- ・ ラバーノズルのグリップを確実に保持し、必要な長さまで排気ホースを下ろしてください。このとき、カチカチと鳴っているところで手を離すと、その位置でラッチ装置のロックが掛かります。

## 注意



- 排気ホースを下ろす際は、必ずラバーノズルを保持しながら行ってください。ノズルが空中で揺れて車両などに接触し、損傷の原因になります。

- 2) ラバーノズルのグリップを持ち、先端部（バイスグリップ部）を車両マフラーに差し込んでクリップし、確実に固定してください。固定できない場合は、グリップの調整ねじを再調整してください。（Fig. 9 参照）

## 警告



- 車両エンジンの回転数を上げたまま（空ぶかしや高負荷状態）の状態です長時間使用しないでください。排気ガスの温度が上昇し、火災やホースの劣化など故障の原因になるとともに、室内に排気ガスが充填し作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。



- 車両マフラーへのラバーノズルの差し込み固定は確実に行ってください。固定状態が不十分な場合、エンジンの始動時や稼働中にノズルが外れ、排気ガスを吸引することができず、室内に排気ガスが充填して作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

## 注意



- エンジンクリーナーなどを使用した車両には、絶対に使用しないでください。エンジンクリーナーに含まれている成分が排気ホースの寿命を著しく短くします。

- 3) 車両のエンジンをかけ、エンジンの回転数を抑えて（アイドリング状態）作業を行ってください。排気ホースの耐熱温度は下記の表の通りです。

・ 排気ホースの耐熱温度

ホースの種類	通常の連続使用温度	短時間での最高使用温度（5分）
NR-CP	150 °C	175 °C
NFC-3（ディーゼル車専用）	300 °C	350 °C

## 注意



- <スプリング式排気ホースリール>を使用する場合、NFC-3 は使用しないでください。排気ホースの寿命を著しく短くします。

- 4) 作業が終了したら、車両のエンジンを停止してください。

5) ラバーノズルのクリップを完全に解除して、先端部(パイソグリップ部)を車両マフラーから取り外してください。

## ⚠ 注意

- ❗ - 必ず車両のエンジンが止まっていることを確認してください。エンジンを止めずにラバーノズルを外すと、排気ガスの熱でヤケドやケガの原因となります。
- ❗ - クリップを完全に解除してからラバーノズルを引き抜いてください。クリップの解除が不完全のまま引き抜くと、車両マフラーなどのキズや故障の原因になります。
- ❗ - 車両のエンジンを停止した直後のラバーノズルは大変高温になっています。ラバーノズルを取り外す際には、十分に注意してください。

### 6) <電動式排気ホースリールの場合>

- ・ 無線・有線コントローラーの「上」の押ボタンを押し続け、排気ホースを上昇させて、ドラムに巻き取ってください。

### <スプリング式排気ホースリールの場合>

- ・ 排気ホースを少し引き出し、ロックを解除して排気ホースを巻き取らせてください。

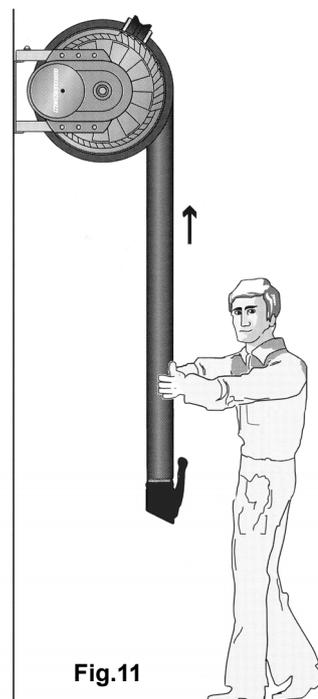


Fig.11

## ⚠ 注意

- ❗ - 必ずラバーノズルが車両から外れていることを確認してから、排気ホースを上昇させてください。外れていない状態で排気ホースを上昇させると、排気ホース、ラバーノズルまたは車両などの破損の原因になります。
- ❗ - 排気ホースを上昇させる際は、必ず排気ホースやラバーノズルを保持しながら行ってください。ノズルが空中で揺れて車両などに接触し、損傷の原因になります。(Fig.11)
- ❗ - 排気ホースを上昇させる際は、ドラムに乱巻きや二重巻きにならないように巻き付けてください。排気ホースが正常に巻き取られていないと、垂れ下がった排気ホースやラバーノズルが車両などに接触し、損傷の原因になります。(Fig.12)

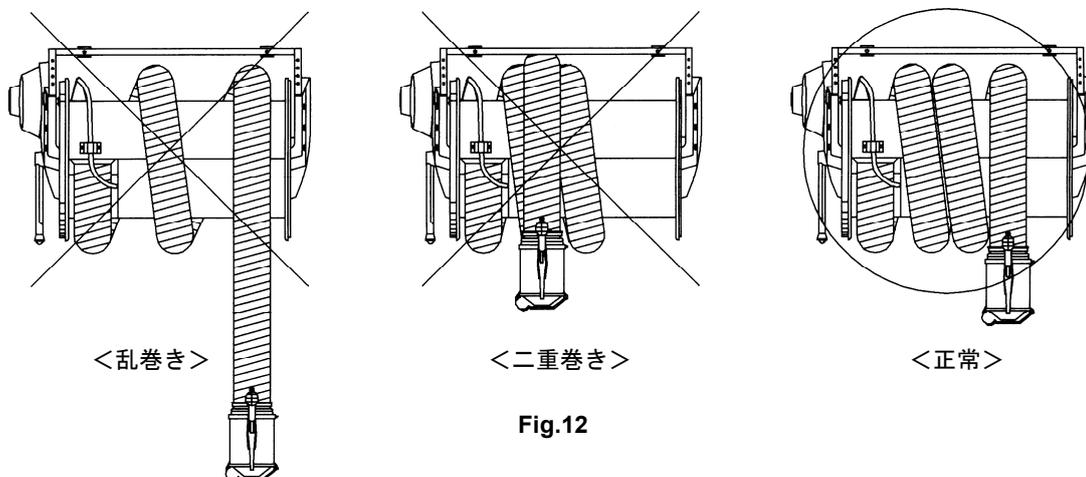


Fig.12

<NOTE>

排気ホースを最大に引き出した状態で使用し、ロックが外れなくなった場合、下記の手順でロックを解除してください。(Fig.13)

- a) ドラムのギヤサイドプレートのグリップを掴み、少しずつ排気ホースを出す方向へ回してください。
- b) ロックが解除されるまで、回してください。
- c) 解除されたら、ギヤサイドプレートと排気ホースを持ち、ゆっくり巻き取らせてください。

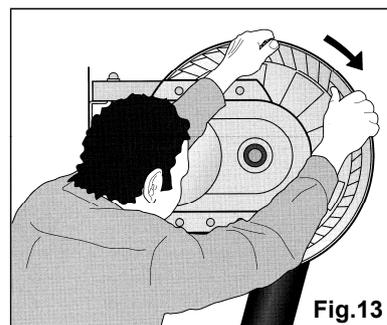


Fig.13

## 5. 保守・点検

### 5.1 故障の点検とその対策

#### <電動式排気ホースリール>

状 況	原 因	点検内容・対策
排気ホースがきれいに巻き取れない。	・乱巻きまたは二重巻きになっている。	・一度、排気ホースを完全に引き出し、手を添えて巻き取る。
排気ホースが下降しない。	・電源が入っていない。	・電源を入れる。
無線コントローラーの信号に反応しない。	・受光部に信号が届いていない。 ・電池切れ。 ・信号のコードが合っていない。 ・違う排気ホースリールの発信器を使っている。	・確実に受光部に向けて操作してください。 ・電池を交換する。(単三電池2本) ・コードの設定を再度行ってください。(「P.2 ■コードの設定」参照) ・排気ホースリールと同じ番号の発信器を使用する。
有線コントローラーのボタンを押しても動かない。	・電源が入っていない。	・電源を入れる。
排気ガスの吸い込みが悪い、または吸わない。	・ラバーノズルに大きなゴミやウエスが付いている。 ・排気ホースが切れている。 ・ダクトが外れている。 ・排気ファンの電源が入っていない。	・ゴミなどを取り除く。 ・排気ホースを交換する。 ・修理を依頼してください。※ ・排気ファンの電源を入れる。

※お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

#### <スプリング式排気ホースリール>

状 況	原 因	点検内容・対策
排気ホースがきれいに巻き取れない。	・乱巻きまたは二重巻きになっている。 ・スプリングの巻き取りトルクが弱い。 ・ロックが掛かっている。	・一度、排気ホースを完全に引き出し、手を添えて巻き取る。 ・スプリングの調整を行ってください。(「P.3 ■スプリングの調整」参照) ・排気ホースを少し引き、ロックを解除する。
排気ガスの吸い込みが悪い、または吸わない。	・ラバーノズルに大きなゴミやウエスが付いている。 ・排気ホースが切れている。 ・ダクトが外れている。 ・排気ファンの電源が入っていない。	・ゴミなどを取り除く。 ・排気ホースを交換する。 ・修理を依頼してください。※ ・排気ファンの電源を入れる。
排気ホースが届かない。	・ホースストッパーの位置が適切でない。	・ホースストッパーの位置を適切な位置に調整する。

※お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

## 5.2 保守・点検

### ■点検

- ・排気ホースに切れや劣化が無いが、目視または触診にて確認してください。切れや劣化を発見した場合、速やかに買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
- ・ラバーノズルの開口部に大きなゴミやウエスなどが無いか目視にて確認してください。ゴミなどを発見した場合は取り除いてください。
- ・本製品から異音がしていないか確認してください。

### ■消耗品の交換

消耗品の内、下記の消耗品に異常が発見された場合、速やかに買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へ連絡し、新品と交換してください。

- ・排気ホースに切れや劣化が見つかった場合
- ・ラバーノズルに破損があった場合

## 注意



- 消耗品に不備が見つかった場合には、速やかに交換を行ってください。システムが有効に作動せず思わぬ事故を招く恐れがあります。



- 消耗品の交換は、高所での作業を伴うことがあります。安全規則を遵守の上、落下などには十分に注意して行ってください。

### <オプション>

部品番号	部品名称	備考
H373522	無線コントローラー	電動式リール用 無線式
H373712	有線コントローラー	電動式リール用 有線式
H373556	ファンブラケット	排気ファン直付け時に使用
H373557	ON/OFF スイッチ	スプリングリール用
H500291	モーターダンパーセット	リール連動のオートマチックダンパー

### 制御盤

部品番号	品名	備考
805086	排気システム制御盤	0.55kW 用 (N16)
805087		0.9kW 用 (N24K)
805088		2.2kW 用 (N29K, NSB-2200K)
805089		3.7kW 用 (NSB-3700K)
805090		5.5kW 用 (NSB-5500K)
805091		7.5kW 用 (NSB-7500K)

※連動・手動の切り換えキー付きスイッチおよび排気ファン起動用 ON/OFF スイッチ付き

## 6. 仕様

### ■電動式排気ホースリール

製品番号	型式	製品名称	排気ホース材質	排気ホースサイズ	使用可能排気ホース長さ	ドラムに巻ける排気ホース長さ	質量(kg) (ラバーノズルなし)
H806465	E4-7.5SNR	電動式排気ホースリール (ショートタイプ)	NR-CP (EPDM) ガソリン・ ディーゼル車用	4" (φ 100) x 7.5 m	7.5	7.5	30
H806165	E4-7.5NR	電動式排気ホースリール		4" (φ 100) x 7.5 m	12.5	10	38
H806565	E4-7.5NFC	電動式排気ホースリール	NFC-3 (PA) ディーゼル車用	4" (φ 100) x 7.5 m	12.5	10	40
H806665	E5-7.5NFC	電動式排気ホースリール		5" (φ 125) x 7.5 m	10	8.5	45
H806765	E6-7.5NFC	電動式排気ホースリール		6" (φ 150) x 7.5 m	10	8.5	49

### ■スプリング式排気ホースリール

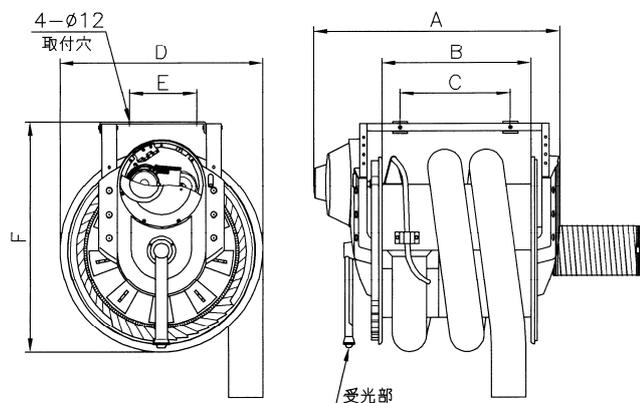
製品番号	型式	製品名称	排気ホース材質	排気ホースサイズ	使用可能排気ホース長さ	ドラムに巻ける排気ホース長さ	質量(kg) (ラバーノズルなし)
H808565	S3-5SNR	スプリング式排気ホースリール (ショートタイプ)	NR-CP (EPDM) ガソリン・ ディーゼル車用	3" (φ 75) x 5 m	10	8	26
H811465	S4-7.5NR	スプリング式排気ホースリール		4" (φ 100) x 7.5 m	12.5	10	37
H808765	S5-7.5NR	スプリング式排気ホースリール		5" (φ 125) x 7.5 m	10	8.5	39
H808865	S6-7.5NR	スプリング式排気ホースリール		6" (φ 150) x 7.5 m	10	8.5	41

※ショートタイプと指定されていない製品は、すべてワイドタイプになります。

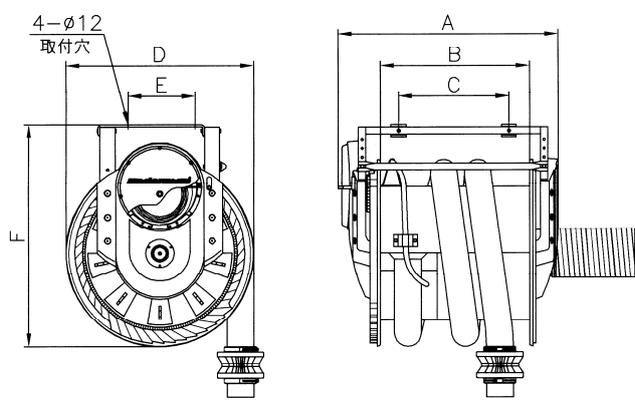
## 7. 主要寸法

### 7.1 排気ホースリール

#### ■電動式排気ホースリール



#### ■スプリング式排気ホースリール



#### <電動式排気ホースリール>

製品番号	ホースサイズ	寸法					
		A	B	C	D	E	F
H806465	4" (φ 100) x 7.5 m	825	500	370	φ 680	225	775
H806165   H806565	4" (φ 100) x 7.5 m	1155	830	700			φ 730
H806665	5" (φ 125) x 7.5 m				φ 780		825
H806765	6" (φ 150) x 7.5 m						

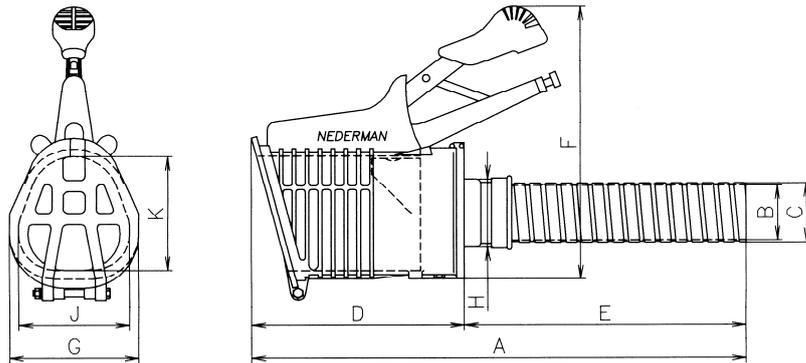
#### <スプリング式排気ホースリール>

製品番号	ホースサイズ	寸法					
		A	B	C	D	E	F
H808565	3" (φ 75) x 5 m	725	500	370	φ 630	225	750
H811465	4" (φ 100) x 7.5 m	1055	830	700	φ 680		775
H808765	5" (φ 125) x 7.5 m				φ 730		800
H808865	6" (φ 150) x 7.5 m				φ 780		825

## 7.2 ラバーノズル

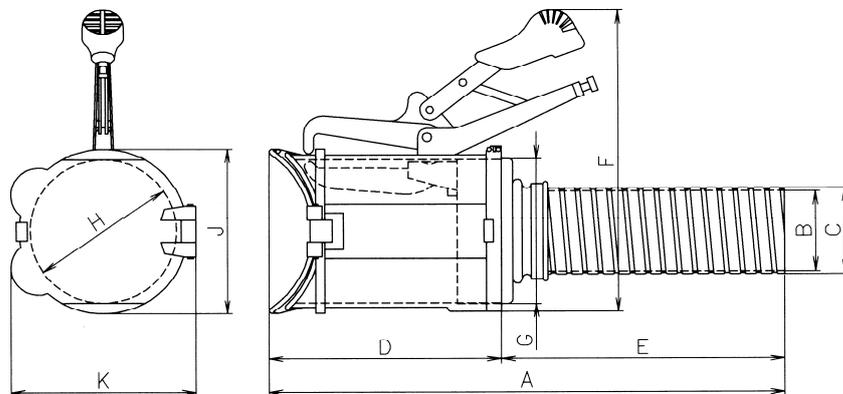
### ■ラバーノズル 三角形

製品番号	ホースサイズ	寸法										質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	
H803461	3" (75 mm)	Max. 720 Min. 535	φ 60	φ 65	230	Max. 490 Min. 305	Max. 300 Min. 240	φ 140	φ 75	φ 120	125	2.2
H803561	4" (100 mm)		φ 88	φ 95					φ 100			2.6
H803661	5" (125 mm)		φ 113	φ 120					φ 125			2.9



### ■ラバーノズル 円形

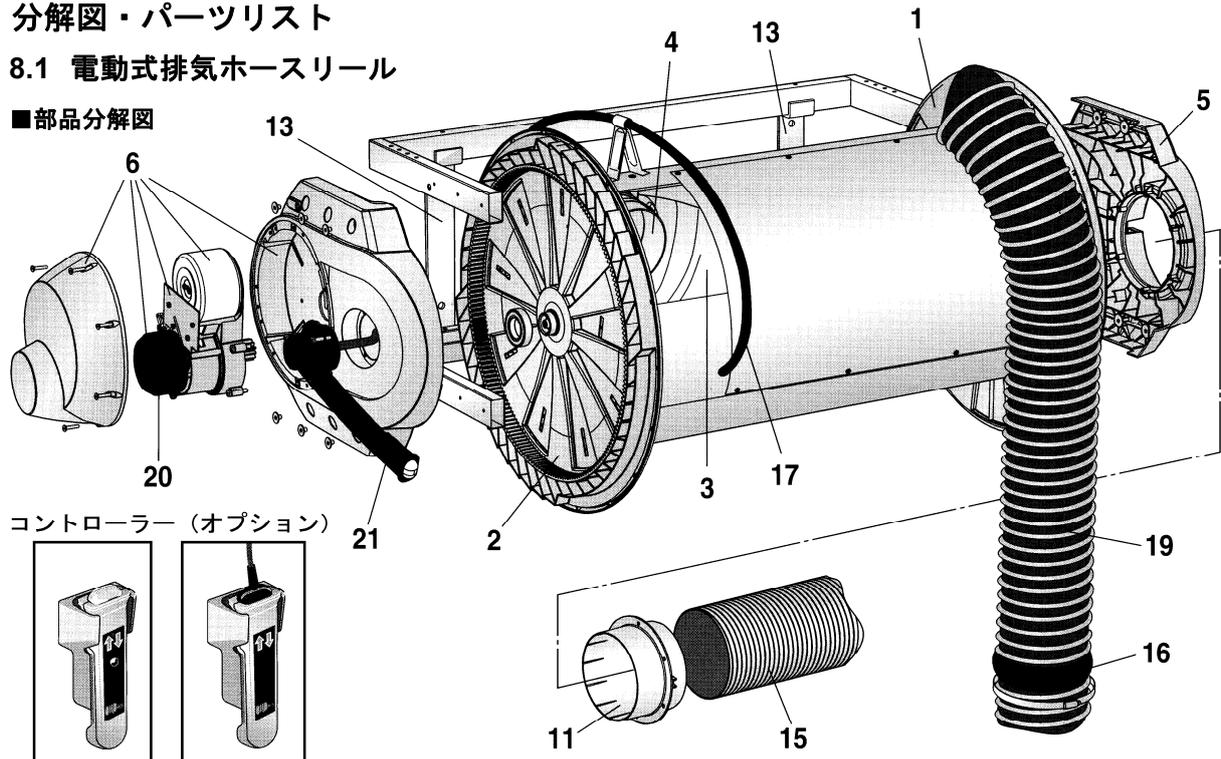
製品番号	ホースサイズ	寸法										質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	
H803161	4" (100 mm)	Max. 740 Min. 555	φ 88	φ 95	250	Max. 490 Min. 305	Max. 335 Min. 280	φ 160	φ 158	φ 182	200	3.1
H803261	5" (125 mm)		φ 113	φ 120					φ 125			3.4
H803361	6" (150 mm)		φ 133	φ 140					φ 145			3.8



## 8. 分解図・パーツリスト

### 8.1 電動式排気ホースリール

#### ■部分解図



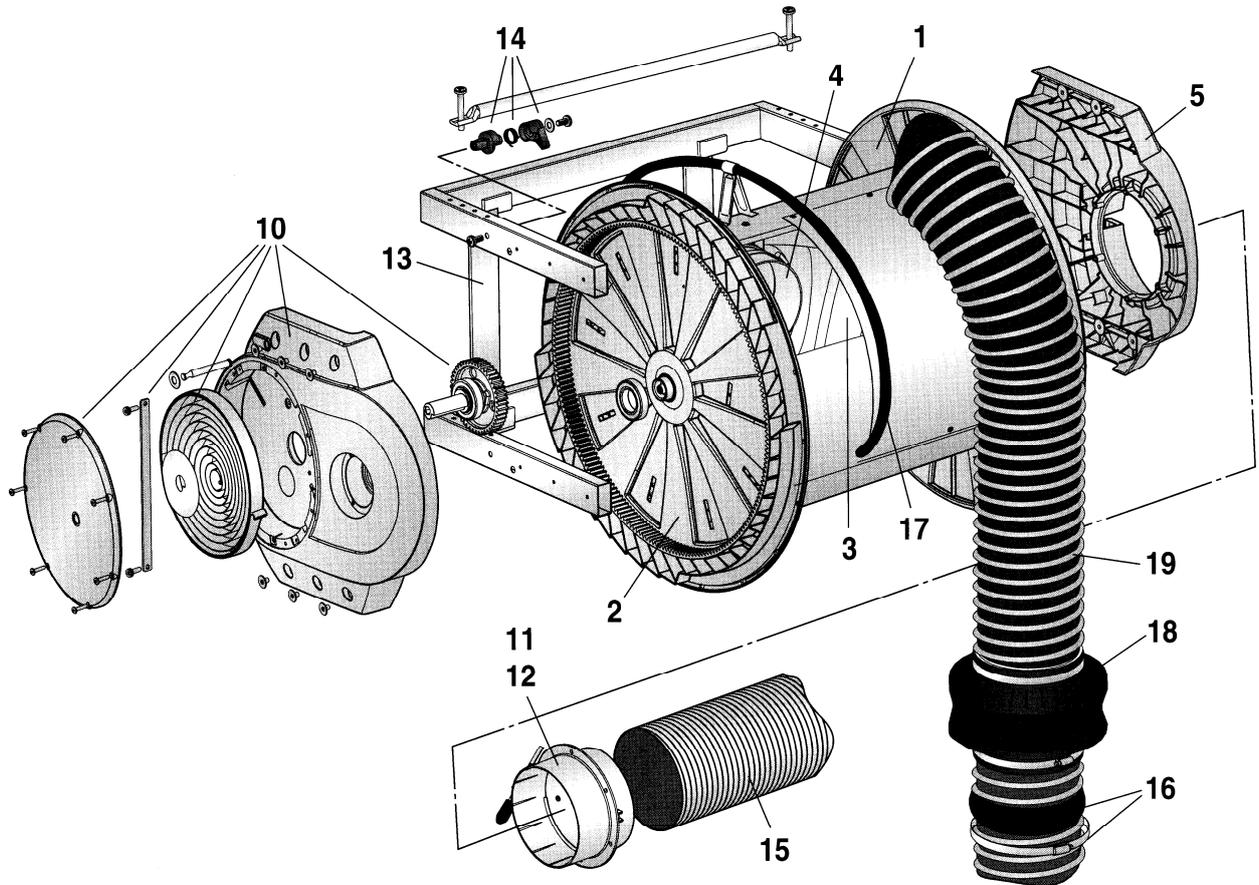
#### ■パーツリスト

番号	部品名称	H806465	H806165
		排気ホースリール E,S4-7.5	排気ホースリール E,4-7.5
		NR-CP	
1	スイベルサイドプレート	H373582	
2	ギヤサイドプレート	H373583	
3	インナーダクト	H373585	H373584
4	接続アダプター	H373587	
5	スイベルサイドカバー	H373590	
6	モーター組立	H374062(スプリング式から電動式に変更の場合)	
11	ベアリング	H373598	
13	取付金具(2本セット)	H373600	
15	接続ダクト	H363116	
16	ラバーカバー	H341281	
	ホースバンド	H341181	
17	ホースガイド	H332253	
19	排気ホース	H820562	
20	モーターユニット	H374068(モーター単体の変更の場合)	
21	インジケーターアーム	H373708	

番号	部品名称	H806565	H806665	H806765
		排気ホースリール E,4-7.5	排気ホースリール E,5-7.5	排気ホースリール E,6-7.5
		NFC-3		
1	スイベルサイドプレート	H373582		
2	ギヤサイドプレート	H373583		
3	インナーダクト	H373584		
4	接続アダプター	H373587	H373588	H373589
5	スイベルサイドカバー	H373590		
6	モーター組立	H374062(スプリング式から電動式に変更の場合)		
11	ベアリング	H373598		
13	取付金具(2本セット)	H373600		
15	接続ダクト	H363116		
16	ラバーカバー	H341281	H341282	H341283
	ホースバンド	H341181	H341182	H341183
17	ホースガイド	H332253		
19	排気ホース	H822762	H823162	H823562
20	モーターユニット	H374068(モーター単体の変更の場合)		
21	インジケーターアーム	H373708		

## 8.2 スプリング式排気ホースリール

### ■部品分解図



### ■パーツリスト

番号	部品名称	H808565	H811465	H808765	H808865
		排気ホースリール S,3-5	排気ホースリール S,4-7.5	排気ホースリール S,5-7.5	排気ホースリール S,6-7.5
1	スイベルサイドプレート	H373582			
2	ギヤサイドプレート	H373583			
3	インナーダクト	H373585		H373584	
4	接続アダプター	H373586	H373587	H373588	H373589
5	スイベルサイドカバー	H373590			
10	スプリング組立	H373596		H373597	
11	ベアリング	H373598			
12	メカニカルダンパー	H373599			
13	取付金具(2本セット)	H373600			
14	ラチェット装置	H373601			
15	接続ダクト	H363116			
16	ラバーカバー	H341280	H341281	H341282	H341283
	ホースバンド	H341180	H341181	H341182	H341183
17	ホースガイド	H332253			
18	ホースストッパー	H344475	H341188	H344111	H344476
19	排気ホース	H820262	H820562	H820962	H821362

## 9. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。(フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。)

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . (        ) _____ - _____ F a x . (        ) _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の 個人情報 方針 に 基づき 適切な 安全 対策 の もと 管理 し、お 客様 の 同意 なく 第三者 へ 開示、提供 いたし ませ せん。

宛先  
株式会社 ヤマダコーポレーション  
営業本部  
TEL.03-3777-4101  
FAX.03-3777-3328

## 10. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

**1.保証期間：**製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

**2.保証内容：**保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

**3.適用除外：**保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類           ・各種パッキン類           ・コード類

**4.補修部品：**補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

**MEMO.**



## 株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail [sales@yamadacorp.co.jp](mailto:sales@yamadacorp.co.jp)



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202401.2772 EXT010U